

第3回第4部会(H29.7.6開催)での主な意見と対応

資料3: 施策区分別の個別事業

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①	事業期間	個別に施設の改修ならば4～5年かかると思うが、10年間全てに黒丸が付いている事業については、10年間継続するというのか。	スケジュールが見えないものは、このような表現となっている。冊子では「前期」と「後期」の両方に黒丸が付くことになるが、まだ見通しが立っていないものも多いことをご了承いただきたい。
②	4-1「保健・医療の充実」	特定健診については、国の事業で糖尿病の重症化予防やヘルスケアなど、既にメニュー事業となり、評価されているものもある。これに挙がっているものは本計画にも掲載してもらいたい。	ヘルスケア事業に関して、黒部市では具体的なものはまだ持ち合わせていない。しかし特定健診の受診率向上は前から言われてきており、黒部市では特定検診は進めてきた。今後はヘルスケア事業も含め、推進していきたい。
③	4-2「地域福祉の充実」	地域福祉体制について、介護ボランティアとなるための養成講座が市や福祉センターで開催され、それらを受講している人はかなりいるが、実際の活躍の場がない。現場で使えるようなシステムを構築できないか。	地域支え合い推進員の養成講座については、1日でも欠けると、受講が不足するという事となる。地域の取り組みについては、支え合い推進員を充実してほしいとお願いしており、今後「通いの場」の実施地区を増やすよう努力したい。
④	4-2「高齢者福祉の充実」	「高齢者の社会参加と交流の促進」は、具体的にどのようなものを考えているのか	「老人クラブの育成支援」では財政的な支援、「高齢者のいきがづくり」ではイベントのバックアップ、「シルバー人材センター運営支援」では交流への支援を行っていききたい。
⑤	4-5「子育て支援の充実」	子育て支援について、医療などは充実しているが、保護者の働き方については企業側が努力してもらう必要がある。市の子育て支援の事業だけでは十分ではない。	市民・NPO・事業者等へのメッセージについて、「家庭・学校・地域・企業が連携し、社会全体で子育てを支援する環境づくりに努めましょう」というものがあり、このような姿勢で、企業も含め、取り組んでいくべきであると考えています。

資料4: 協働体制・市民等へのメッセージ・主な指標と目標値

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
⑥	主な指標と目標値 4-1「保健・医療の充実」	特定健康診査の受診率については、国では平成35年で70%を目標としているが、それを上回る目標値が必要でないのか。また、かかりつけ医でも検診を受けるように、目標値を勘案してもらいたい。また、4-3の地域住民主体の通いの場の開催箇所数について、7箇所から25箇所と伸びているように見えるが、砺波市では5年以内に100箇所を目標としている。同レベルくらいにはなってもらいたい。	特定健診の受診率については、黒部市の現状は厳しいものがあり、力を入れている状況であるが、現実的にできる指標として、今回提示させていただいている。通いの場の開催箇所数については、指標を参加者数に改めたくうえで、目標値を見直す。